

なかざわ

裕隆

中沢ひろたか県議会サポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

「考え、議論する道徳」導入を

すべての公立小・中学校で 道徳の時間実施へ

柏市選出の中沢裕隆県議（2期）は9月定例県議会に登壇し、一般質問を行いました。次代を担う青少年の教育問題に力を入れていく中沢県議は真つ先に道徳教育を取り上げ、「道徳教育は、国家・社会の持続的発展にとって、重要な意義を持っている」として、本県の道徳教育の現状や今後の取り組みを質しました。また、社会問題となっている児童虐待への対応や地元柏市の治安などについて県や県警に質問しました。中沢県議の質問と県教育長らの答弁を特集します。

9月定例県議会 一般質問



登壇し、道徳教育などを質問する中沢裕隆県議

中沢議員 道徳教育を通じて育成される道徳性は、「豊かな心」はもちろん、「確かな学力」や「健やかな体」の基盤ともなり、児童生徒一人ひとりの「生きる力」を根本で支えるものである。また、道徳教育は、個人のより良い人生の実現はもとより、国家・社会の持続的発展にとっても極めて重要な意義を持っている。そこで、高小中学校における道徳教育の成果と課題についてどう考えているのか。

教育長 道徳教育の成果としては、各学校において校内研修会の実施や、独自教材の開発が進んだこと、さらに授業公開を通して、保護者や地域住民、小・中学校の教員との道徳教育についての交流が進んだこと等が挙げられます。

一方、課題としては、道徳教育における「効果的な指導方法」や、「リーダーとなる教員の不足」等が挙げられます。

中沢議員 平成27年度から実施する新しい取り組みはどうか。

教育長 県教育委員会では、これまでも学校現場での活用ニーズが多いことから、道徳教育に関する映像教材や読み物教材等を作成してきました。

平成27年度は、中学生向け

中沢議員 道徳教育を通じて育成される道徳性は、「豊かな心」はもちろん、「確かな学力」や「健やかな体」の基盤ともなり、児童生徒一人ひとりの「生きる力」を根本で支えるものである。また、道徳教育は、個人のより良い人生の実現はもとより、国家・社会の持続的発展にとっても極めて重要な意義を持っている。そこで、高小中学校における道徳教育の成果と課題についてどう考えているのか。

教育長 道徳教育の成果としては、各学校において校内研修会の実施や、独自教材の開発が進んだこと、さらに授業公開を通して、保護者や地域住民、小・中学校の教員との道徳教育についての交流が進んだこと等が挙げられます。

一方、課題としては、道徳教育における「効果的な指導方法」や、「リーダーとなる教員の不足」等が挙げられます。

中沢議員 「考え、議論する道徳」の指導方法についてどう考えるか。

教員の指導力向上重要

中沢議員 教員の指導力向上に取り組む必要があると考えるが、どうか。

教育長 県教育委員会では、各学校の道徳教育推進教師などを対象に研修を実施し、道徳の教科化に向けた情報提供等を行うとともに、研究指定校による授業研究に学校種を越えて積極的に参加するよう促しています。また、学校全体にその成果を広めるよう指導しています。

中沢議員 校長を始めとする管理職の研修においても、道徳教育の扱いを根本的に充実する必要があると考える

中沢議員 校長を始めとする管理職の研修においても、道徳教育の扱いを根本的に充実する必要があると考える

中沢ひろたかプロフィール

略歴

- 昭和45年6月生まれ
- 麗澤高校卒
- 麗澤大学国際経済学部卒
- 公益財団法人モロロジー研究所モロロジー専攻塾卒
- 平成11年8月 柏市議会議員初当選(3期)
- 平成23年4月 千葉県議会議員初当選

現職

- 県議会 総合企画水道常任委員会副委員長

千葉県・柏市についてのご意見、ご要望をお聞かせください。

中沢裕隆

政務調査
事務所

〒277-0061 柏市東中宿3-1-2
アーバン千代田店舗C
TEL.04(7173)4791

増える児童虐待相談

老朽施設改善や職員不足解消を

3件、平成26年度が1万4515件となり、10年間で2972件増加しています。このうち、最も増加したのは虐待相談で、平成17年度には1179件だったものが、平成26年度には5378件と、4199件増加しており、次いで知的障害のある児童の療育相談が2040件の増加となっています。

中沢議員 増加し続ける児童虐待相談件数に対応するため、県の児童相談所の体制強化と専門性の向上への取り組み状況はどうか。知事 県では、児童相談所における相談件数の増加や管轄人口などを踏まえ、これまでの10年間で児童福祉司48人、児童心理司を25人増員しています。

また、児童虐待対応法律アドバイザーや小児科医、法医学者等、各領域の外部専門家から、すみやかに多角的な視点での助言が得られる体制を整備するとともに、職員に対し、援助困難事例への対応技法など、高度な専門性を強化する研修を実施しているところで

望 中沢議員 先日視察した県所管児童相談所、児童養護施設、乳児院等、どの施設も老朽化と狭隘、職員の不足について早急に取り組む必要がある。相談にきめ細やかな対応をする必要がある。千葉県

を必要があり、千葉県の人口を考えると県所管児童相談所が6施設では少なすぎるが、現実的な対応として、まず市町村との連携を強化し役割を明確化していくことが重要である。このため、市町村が設置している地域協議会の機能強化や、子どもを守る地域ネットワークから地域協議会への移行支援を、更に積極的に行うよう要望する。大阪市内で2010年に

発生した児童虐待を見ても、児童虐待は世代を超えて受け継がれる可能性があり、想像を超える側面がある。児童虐待については地域社会や、行政の力を借りながらも、しっかりとした対応をしていかなければならない。相談体制の不備あるいは施設の老朽化・狭隘、これらの点を踏まえて、今後ともできるかぎり、しっかりとした対応を要望する。

「交番などの新設検討が必要」

県警本部長言明、柏たなか駅周辺に

中沢議員 柏市における治安対策についてうかがう。柏たなか駅周辺の土地区画整理事業における区域内の工事については、平成28年度に終了するとのことだが、同駅周辺における交番新設の予定はどうか。警察本部長 交番の設置については、その管内の事件・事故の発生状況等の治安情勢、面積、人口



議場の自席で再質問をする中沢裕隆県議

つくばエクスプレス沿線整備着々と

中沢議員 つくばエクスプレス沿線整備等についてうかがう。柏北部中央地区における土地区画整理事業の現在の進捗、並びに今後の取り組みはどうか。都市整備局長 本地区では、これまで柏の葉キャンパス駅周辺や幹線道路を中心に整備を進め、昨年度末の進捗率は、事業費ベースで約48%となっています。また、駅周辺では、大型商業施設やホテル、高層マ

ンションなどが立地するとともに、公民学の連携により、東京大学駅前サテライトやベンチャー育成のための拠点施設などが整備され、ますますにぎわいを見せております。

今後は、赤坂台や十余二地区など、本地区周辺部の宅地整備に着手するとともに、国道16号沿いの商業施設開業に合わせた基盤整備や中学校用地の造成工事などを進めてまいります。

不登校

小・中・高校ともに増加傾向

中沢議員 本県公立小・中・高等学校の不登校児童生徒の状況はどうか。教育長 平成26年度において本県公立学校の、病気や経済的理由を除き年間30日以上の欠席のある不登校児童生徒数は、小学校が1158名で、全児童に対する割合は0・36%、中学校は3963名で、全生徒に

対する割合は2・56%、高等学校は、2939名で全生徒に対する割合は2・82%となっており、いずれも前年度より増加しております。

不登校のきっかけは、小・中学校では、不安など情緒的混乱、無気力が多く、高等学校では、無気力、遊び・非行が多い状況です。

県教育委員会では、臨床心理の専門家であるスクールカウンセラーを公立小学校70校、全公立中学校及び県立高等学校80校に配置し、不登校の兆候を早期に発見して対応できるように、教育相談体制の充実を図っています。

また、社会福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーを公立小・中学校5校と県立高等学校2校に訪問相談担当教員を公立小・中学校12校に配置して、家庭訪問を行うなど、児童生徒や保護者への支援や関係機関との連携に努めています。

さらに、不登校対策推進校として公立小・中学校125校を指定し、校内の居場所としての支援教室を設置して、教室復帰に向けた支援を行っています。

不登校問題の研修実施 教師の指導力向上図る

中沢議員 教員の資質向上のためにどのような取り組みを行っているのか。教育長 県教育委員会では、生徒指導上の諸問題について理解を深め、対応力を高めるために実施している「小・中学生指導推進研

究協議会」や「生徒指導リーダー育成研修」等の中で、不登校の現状と課題や不登校支援の在り方についての研修を行っています。

これに加えて、不登校児童生徒に関わる教員を対象に不登校問題に特化した研修を実施し、教員の指導力向上を図っているところで

す。今後とも、児童生徒の不登校解消に向け、積極的に取り組んでまいります。

なお、現在、柏市を始めとする関係機関と将来に備えて候補用地に関する検討を行っているところであります。

中沢議員

中沢議員